

令和 6 年度

第 2 回えどがわっ子食堂ネットワーク打ち合わせ会記録

日時：令和 6 年 12 月 10 日(火) 19:00~20:30

会場：グリーンパレス千歳・芙蓉

① 開会のあいさつ

(えどがわっ子食堂ネットワーク 藤居世話人)

皆様こんばんは。今年度 2 回目のえどがわっ子食堂 NW 会議を始めたいと思います。子ども食堂も数が増え、どんどん支援の輪が広がっていきなと思っています。そして子どもたちへの支援が広がる江戸川であればいいなと思っています。また今日もたくさんの皆さんにいろんな情報を提供して下さるので、またプラスになっていくのではないかなと思っていますので、たくさんのメニューになっていますけども、最後までご出席どうぞよろしくお願いいたします。また、いつものように記録のための写真撮影をさせていただくのでご解

いただきたいと思っています。いつもお世話になっています食品衛生に関する情報を保健所食品衛生課の刑部係長からお話をいただきます。よろしくお願いします。

② 食品衛生に関する保健所からのお知らせ

(江戸川保健所食品衛生第二係 刑部係長)

皆様こんばんは。本日は、お手元の資料「子供食堂における事故防止のためのポイント」参照に、こちらに沿ってご説明します。大きく 4 点ご説明しますが、まず一つ目は冬場に流行する食中毒、ノロウイルスについてです。ノロウイルスは下痢・嘔吐の症状があり、感染力が非常に強いので、調理する人の手に少量のウイルスがついていただけでも調理や盛り付けをする際に食品にウイルスが付着してしまっ、大規模な食中毒が発生することがあります。予防方法としては、やはり第 1 に手洗いです。調理する前は手をしっかり洗う、あと調理する方が体調悪い時は無理せずに従事しない、こちらが予防のポイントになります。これから 12 月、1 月にやっ

てきますので、ご注意ください。二つ目は食物アレルギーについてです。アレルギーは発症すると命に関わる危険性がありまして、本当にごく少量口に入っても最悪の場合死に至ることもあります。参加者の方には食物アレルギーがないかよく確認していただき、子ども食堂としてそういったアレルギー除去食の対

応をするかしないかという対策を決めることが大切です。調理のスタッフ参加者の皆さんにその辺は徹底していただきたいと思います。

三つ目は食品の適正な管理とあります、子ども食堂さんいろいろな食材をフードバンク等いろいろなところから寄付を受け入れると思いますが、その際の食品の保存方法とか、賞味期限の管理などご注意ください。在庫が多くなってくると賞味期限切れが発生してしまったりすることもありますので、メニューを工夫するなど、適正な管理をお願いいたします。

四つ目は食事時の誤嚥窒息です。小さいお子さんは噛んだりする力や、飲み込む力が十分ではないので、形が大きいものや硬いものは危険性がありますので、小さいお子さんが参加する場合は特に事故がないようにご注意ください。

最後に保健所からお願いですけれども、もし何か事故があったらすぐ保健所にご相談いただきたいんですが、このチラシの内容を調理する皆さん一人一人に徹底していただきたく思います。食に関する感覚は個人差がありまして、皆さん自分の経験上「これくらいなら大丈夫だろう」とばらつきがあります。事故は思わぬところで起きますので油断することなく、調理する 1 人 1 人がこれらの点について常に気をつけていただくように皆様からお伝えいただければと思います。以上です。

③ ことのはリサイクルチームの取組について

(NPO 法人ことのはサポート 上田氏)

「子ども食堂運営の皆様へ」という資料参照。お弁当容器大手のヨコタ東北さんのリサイクル容器をご紹介します。これはリサイクルの一つになっているんですけども、この黒ポチの三つ目、なぜ今リリパックなのかということで、まずはSDGs 関係のカーボンニュートラル、この一環としており、食器の洗浄を必要としなく、ボランティアさんの負担軽減、水道代の軽減にもなるということです。ご飯ちょっとだけ残したとしても、はがしてゴミと一緒にして、器は回収して、ゴミの減量に繋がるということ。毎回フィルムを貼っていますので、食中毒等々のリスク軽減にも繋がります。

なぜ今まで子ども食堂で普及しなかったのかというと、ヨコタ東北さんは容器のメーカーなので、個別取引だと、1000 枚から 2000 枚以上の大きなロットになってしまう。これだと個人ではできない。手前ども配食事業をやっておりまして、その中でお取引がございまして。我々が間に入りまして、小ロットでの 50 枚が最低なんですけども、50 枚ロットの中で、お届けと容器の搬出回収これがワンストップでできるというのが、今回のご紹介に至った経緯でございます。

リサイクル料、容器の価格表がありますが、その 3 枚目にある導入事例として、いろいろお声を聞いております。江戸川区内のある子ども食堂様に、導入いただいたんですけども子どもたちも楽しそうに剥がして捨ててくる。リサイクルという意識が子供たちに芽生えているんじゃないかというような事も。食育まではいきませんが、そういう現場の声が

上がっています。あとは食器を毎回洗って、しまっ、またやるたびに洗って出してっていうような負担が軽減されましたので集合時間が 30 分遅くできたとか、撤収時間がちょっと早くできたとか、そういったような声がございます。

そういうことで単価表を見てもらってわかる通り、30 円とか 40 円なのですが、50 枚ロットで頼みまして、50 枚またさらに 100 枚頼めば 500 円引きとか、また以降 50 枚ごとに 500 円引きとか、そういうようなプレミアムもついていますので、ぜひご検討願えればと思います。

毎回となりますけれども、請求書という形で、私どもことのはサポートと子ども食堂さんとの直接の取引で、社協さん関係なしでの取引になります。回収に関しても、月 1 回何曜日の何日ぐらいって言ういただければ、我々の方で回収して、その時同時で、新しい物の発注があるといいのですが、そのような動きでやっていきたい。この取り組み、一緒にやっていきたいなと思いますので、ご連絡お待ち申し上げます。以上です。

(藤居世話人)山形の製造元の地域では小学校でも、これを利用しているということで、子どもたちの食べ残しも少なくなったよ、ということも聞いたりしましたので、ぜひご検討頂くと良いと思います。よろしく申し上げます。それぞれに連絡を取っていただいてもいいですし、今日のアンケートの中にも聞きたい事というところで書くところがありますので、それを使っていただければと思います。

④ こども家庭センターの役割について

(児童相談所はあとポート 相談課支援係峯崎主査)

児童相談所の中に、こども家庭センターというものが今年度からできました。できましたというか今まで児童相談所ができる前は、こども家庭支援センターというのが、私の覚えている範囲では、船堀の勤労福祉会館にあり、その後、瑞江の人権・男女共同参画推進センターがあるところであって、令和 2 年から今の児童相談所にできたんですけど、今 5 年目になっております。出来たタイミングで、こども家庭支援センターというのはなくなっております。

児童相談所内には援助課と相談課、二つの課があります。一時保護課っていうのもあるのですが、援助課と言われるものがいわゆる児童相談所で、子どもを保護し、虐待対応する。もう一つの相談課はいわゆるこども家庭支援センターの役割をやっておりました。こども家庭支援センターは、子どもの養育に関する相談、育児相談、特定妊婦、リスクの高い妊婦さんの対応を主にやっておりました。

今年度そのこども家庭センター、何が違うかという、資料を見ながら説明します。基本的には、やっていることはそんなに大きく変わらないんですが、今年度、変わった点というのは、全ての妊婦さんから、支援の対象者を広げる。ただ全員対象にすると我々も回りきれ

ないので、よりリスクの高い人と、もうちょっと下げてちょっとリスクが高いなっていう方を対象に今取り組んでおります。

相談課支援係の他にもう一つ、母子保健連携係ですね。これが何なのかというと、いわゆる健康サポートセンターの保健師さんと、我々支援係が連携しやすいように、そのような母子保健連携係というのが新設されております。リスクの高い妊婦さんに関しては、サポートプランという個別のプランを作成して、あらかじめ検討予測して、プランを立てて、何かあった時にはすぐ対応できるようにするという事が大きな目的となっております。保健師さんからリスクの高い妊産婦さんの通告というものがあります。例年だと20件位ですが、今は30件以上ある。乳児の虐待リスク、死亡リスクは非常に高いので、我々も死亡事案が出ないように、さらには虐待リスクをどれだけ下げていけるかっていう取り組みを今年度やっております。まだ今年度始まったばかりですので、サポートプランの作成件数はまだまだ非常に低いのですが、これからより良い形になっていくように保健師さんとともに連携してやっております。

現在、児童相談所で年間に受ける相談通告が大体4000件になります。そのうち半分が虐待になります。2000件ぐらいですね。身体的虐待、心理的虐待、ネグレクト、性的虐待になりますが、大雑把に約半数が心理的虐待になります。主な原因は夫婦げんかです、子どもが目撃したというのが非常に多くなっております。

2000件が年間の通告と申し上げましたが、年々増えているのが現状です。大体100前後、徐々に増えているというのが現状です。心理的虐待なぜ増えたかということ、夫婦げんかでどちらかが警察に電話すると、警察からうちにこういうことがありましたという通告を受けることが多いです。警察が一番多いと思います。その次には関係機関ですね。学校や病院、地域の方々、民生委員さん、関係機関の通告が多くなっております。

皆さんが子ども食堂で関わるお子さんで気になった時に、児童相談所に連絡するのはハードルが高いなっていうのはたくさんあると思います。それでも初期の段階で我々が関わることで、そのリスクを下げられますので、ちょっと疑問に思ったとか、これどうなのだろう？ と思った時は、ご連絡いただくと、我々からこうしてくださいとかこういう情報くださいとか、いろいろ連携しながら子供の虐待の防止ですね、に繋がっていくのかなと思っております。

資料にもチェックリストというものを付けております。様々な関係機関のバージョンとありますが、後ろに載っておりますが、ちょっとした変化、気づきが、皆様が関わる中で感じ取れる部分があるのかなと思います。その際に、このチェックリストを参考にさせていただいて、何か引っかかる部分とかを該当するなっていう部分があれば連絡してほしいです。もちろん、子どもがすごいアザを作って食堂に来ました、とかだったらもうまず連絡していただければと思います。虐待の可能性がある場合、どうなのかなと疑問に思われると思いますが、表情がいつもより暗いなとか、そういうときはちょっとどうしたの？ と声をかけていただいて、お父さんお母さんに怒られたとか、いろいろ言ってくれるお子さんもいると思

うのですが、なかなか開示しないお子さん多いと思います、気になるお子さんというところでは、ご相談をしていただきたい。お母さんに怒られたってというの、怒鳴られるとか、そういうのだと心理的虐待に該当しますので、ご連絡をいただければと思います。

我々こども家庭センターでも虐待を一部取り扱っていますが、いわゆるネグレクトですね、同じ洋服を毎日着ているとか、何日もお風呂に入っていないとか、そういうご家庭もあるかとは思いますが、それももちろん程度にもよりますけどもネグレクトの可能性というところでは、皆さんも気づいたときには、ご連絡をいただきたい。

あくまでも参考ですので、ここに該当しない部分も日々の中であると思います。そこやはり不安に思う、気になるご家庭だとかがありましたら一報いただくと助かります。我々こども家庭センターとしては、虐待予防が中心となっております。どうしても育児負担とか保護者の負担から大きな声が出てしまったり、手が出てしまったりというケースが非常に多いので、パンフレットを同封させていただきましたが、子育て負担の軽減の為に、おうち食堂・KODOMO ごはん便、おとなりさん事業・えどがわパパママ応援隊、パンフレットはないですがショートステイ事業なんかも展開しております。

KODOMO ごはん便は条件が非課税世帯 1 食 100 円でお弁当を届けてくれるというものです、おうち食堂は、実際にご自宅に行ってボランティアさんが料理を作って、片付けまでしてくれるというもので、子供 1 人当たり 500 円で江戸川区から補助が出るものです。おとなりさん事業に関しては、記載の通りですが乳児支援、子ども支援、学習支援、家事支援という四つの項目の中でいくつか選んでいただいて、それを週 1 回、2~3 時間ぐらいで、年間 48 回を上限に、提供している事業です。これが今大体、世帯数で言うと、60 世帯ぐらいご利用が今あります。希望はもっとあるのですが、支援員さんが足りていない。有償ボランティアさんですが、例えば小岩地区にはこういうボランティアさんが少ないとありますので、おうち食堂の支援員大募集というパンフレットも同封させていただいておりますので、もし興味がある方がいたらご紹介していただきたく思います。

毎年小学生中学生の全生徒にカードをお配りしております。子どもたちでも何かあったらこれ見て電話してねって言って実際に子どもたちがかけてくれると思います。そこから支援に繋がるということもありますので、ご紹介をさせていただきます。

我々も日々虐待予防のためにはやっているのですが、まだまだ虐待数は減りません。最近増えてきたのが、子どもが来て保護してくださいってということも年間何人かいらっしゃいます。やっと児童相談所 5 年目になって子どもたちにも、児童相談所がここにある、ここに行けば何か助けてくれるんだっていう思いを持つ子が増えてきたのかなっていうのは、我々児童相談所もどうしてもあまり良くないイメージを持たれている中で、子どもが自ら声を上げてくるようになったというのは、プラスの意味で浸透してきたのかなと思っています。

児童相談所イコール子どもを保護する施設ではないので、もちろん状況によってはしますが、必ず虐待だったらすぐ保護されるとか、そういうところではなく、事態を予防する、

防ぐ、さらには虐待があった事案に関しては改善していく施設だと思っていただいて、保護者の方にも育児で悩んでいる方がいましたら、児童相談所をご案内していただければと思います。今後とも皆様も児童相談所業務に協力していただきながらも地域との連携を大事に、これからもいろいろな案件に対応してまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(藤居世話人) 区も様々な子ども支援の取り組みをされているという事と、それから私達子ども食堂も、子どもたちへの支援、見守りにも繋がっているのではないかなと思いましたので、こうしたこども家庭センターとの繋がりもぜひ持たせていただけたらと思います。

⑤ 新しく加入した食堂の紹介

(藤居世話人)

新しく加入された子ども食堂さんを紹介させていただきますので、ご出席になっているところはお立ちいただければと思います。

まず「土のうた子ども食堂」さん。7月にご入会された食堂さんです。毎月1回不定期の金曜日の夜の時間帯に、南小岩8丁目のお店で活動されています。次は「あっぱれるーばんの家こどもしょくどう」さん。9月に入会された食堂さんです。毎週土曜日、お昼の時間帯に南小岩4丁目のお店です。次が「子ども食堂あら川」さん。9月に入会されている食堂さんですけども松島4丁目の店で活動されていて、ここは店のオープン中、常に子ども食堂をやっています。次は、「SOMPO 流子ども食堂ラヴィーレ船堀」さん。10月にご入会いただいた食堂さんです。毎月第4土曜日のお昼の時間帯に東小松川3丁目の施設で活動されているということです。次は、「こども食堂 RI・CHI・A」さん、10月にご入会された食堂さんです。不定期の夜の時間帯に鹿骨1丁目のお店で開催されています。次は「ろくなか子ども食堂」さん。11月に入会されて4月から開催される予定です。北小岩二丁目の六中会館で活動されるということで、今日いろんな情報を持って帰っていただけたらと思います。

⑥ 区・事務局からのお知らせ

1. 子ども食堂推進事業補助金中間実績報告について

(福祉推進課計画係 酒井氏)

補助金についてのお知らせです。お手元の資料参照。「令和6年度江戸川区子ども食堂推進事業補助金第2回・第3回実績報告について」という形で資料があると思いますのでご覧ください。こちら記載の通り、9月に交付申請をしていただいた食堂様につきましては、8月分までの実績報告をお願いしましたが、引き続き9月以降の実績について報告をお願い

いたします。提出期限につきましては、9月から12月分を、年明け1月15日までに、1月から3月分を4月10日までに、前回と同じく福祉推進課宛にメールで提出をお願いいたします。書式につきましては前回と同じものになりますが、後日メールでもお送りいたしますのでご確認お願いいたします。それ以外の注意事項についてはこちらをお読みいただき、ご不明な点がありましたら、お問い合わせいただければと思います。

2. 前回のご意見とその後の動き

(えどがわっ子食堂ネットワーク事務局 吉田)

皆様お集まりいただき、大勢の皆さんにお会いできてとっても嬉しいです。まず今回は名簿を入れさせていただきました。昨日ご連絡いただいた時点のもので、実際と若干違っているかもしれないのですが、ご了承ください。それから先ほどのことのはサポートさんから話があったお皿の注文書は、各団体に一つずつ置かせていただきました。全席にあるわけではないので、2人でお越しのところはどちらか一つに置いてあります。

前回皆さんにアンケートでお聞きした、えどがわっ子食堂ネットワークのカードがついに出来上がりました。80枚から100枚ぐらい入っています。皆さんから子ども・大人両方に使えるようなものを、という意見が多かったので、表面子供向け、裏面大人向けを意識し作ったものです。ぜひいろんな場面でお使いいただいて、いっぱいありますのでもっと欲しいというところがありましたら、お声がけください。カードを入れるカードスタンド、これは皆さんにお配りしてないのですが、お店でやってるところとかで常時置きたいというところがありましたら、お声掛けください。

それからネットワークのLINEの公式アカウントができました。会員専用情報発信ラインというふうに書いてあるこのチラシに、QRコードを載せています。ここを読み込んで友だち追加をしていただくと、公式LINEから様々な情報を受け取ることができるという形です。内容としては今までメールでお知らせしていたものとなります。しばらくはメールと並行して情報をお届けします。グループLINEではないので、そこにメッセージを書いていたいただいても他の人には見えませんが、事務局とはやりとりできます。

また、詳しくは後日メールでお知らせするのですが、前回のゲストスピーカーで来ていただいたクボタスピアーズさんから試合の観戦ご招待の話がまた皆様に届いております。えどりくで開催される試合のご紹介ということで、1月18日から4月26日の試合が対象です。1食堂につき10枚が上限となっています。これはどちらかという子ども食堂利用者さんというよりもスタッフさん向けということですので、ぜひ食堂内で共有いただきたいと思います。ちなみに申し込み方法はオンラインとなっていますので、後でメールにて申し込みできるフォームを送りますので、ご興味ある方よろしくお願ひします。

会議終了後の事をお知らせしておきます。まず一つ目、アンケートについてです。封筒の中にアンケートが入れてありますが、書いていただいて終わったら机の上に置いてご退席

ください。いろんなスピーカーさんにお話いただいた後で、本来なら質問タイムを取りたいのですが取れないので、質問を書ける項目もありますので、そこもご活用ください。後でスピーカーの方々にその質問もお聞きしてフィードバックするという形にします。あとは寄付品がたくさんあります。お米もありますし、フードドライブでの調味料やお菓子ですね、クリスマスも近いので。出口付近と、一番近い階段を降りて正面ロビーのところにあります。お米は下にありますのでぜひご自由にお持ち帰りください。

それから、ネットワーク会議の前回のご意見とその後の動きという用紙をご覧いただきたいのですが、今回のネットワーク会議は、皆様から前回のネットワーク会議でいただいたご意見をもとにといいますか、反映させることができるようにと考えて企画しました。一部紹介します。まず、前回食堂間のつながりを強化したり、合同のイベントを開催したいというお声がありました。これについては地域ごとにチームが誕生していきまして、小岩地域で小岩会というものが誕生しました。これは前回のネットワーク会議で集まった小岩地区の子ども食堂の皆さんを中心に立ち上がったもので、みんなでつながりを持とうという趣旨の会です。既に数回打ち合わせも行って、グループLINEも発足しています。そして10月末に、共育プラザ小岩の館まつりというものに小岩会として出店して、チキン南蛮丼をみんなで協力して作って販売して、140食が1時間で完売したということで、すごいなと思いました。

それからもう一つ、葛西地区の子マル会、子マル会というのはこども食堂マルシェの略です。これは葛西地区でこども食堂マルシェをみんなでやろうという集まりなのですが、詳細はこの後発起人であるこどもカレースタンドの岩本さんにお話いただきます。

それから資料の2ページ目の2番目のところに食堂以外との連携交流をしたいという声もあり、抜粋して3つですね、まず児童相談所・こども家庭センター、先ほどお話いただいた通りですね、ぜひ皆さん気になるお子さんいると思いますので、連携よろしく願います。それから、企業さんとなつなりたいというお声も多くありました。今回信濃運輸株式会社さんにゲストとしてお越しいただいておりますので、後でお話をお聞かせいただきます。それから結構多かったのが農家さんとなつなりたいというお声です。そこで今回はフードネット江戸川の大場代表が、農家さんでもいらっしゃいまして、今回面白い提案をご用意していただいたので、それも後でお話させていただきます。

というように、このネットワーク会議でいただいた皆さんのお声が新たなつながりの芽を生み出しています。えどがわっ子食堂ネットワークという名前の通り、今後も様々な形でネットワークを強化して、皆様の活動の後押しをしていきたいと思いますのでアンケートもご協力願います。それからどれ位時間が取れるかわからないのですが、会議最後の方には情報交換タイムも予定しておりまして、皆さんもここで紹介しきれない面白い取り組みについて情報交換していただきたいと思います。事務局からは以上になります。

⑦ 信濃運輸と子ども食堂の連携について

（信濃運輸株式会社 取締役総務部長 横塚様）

今現在、やりとりしている方、それから顔見知りの方、いろいろいらっしゃいますけど、大半の方が多分初めて信濃運輸という名前を聞いたと思います。今日ぜひ覚えていただければと思っております。江戸川区臨海町 4 丁目ということで、葛西臨海公園の駅の近くに本社がございます。そちらで倉庫業それから運送業をやっている会社です。

以前は福山通運という全国規模の会社にいたのですが、信濃運輸に入ってから 25 年が経っています。その中で 15 年、6 年ぐらいですか、障がい者に携わってきました。いろんなことをやってきました。障がいのサポートの資格を取ったり。恥ずかしい話会社はまだ納付金を納めているぐらいなんです。法定雇用率達成していません。その中で、会社の中では納付金を納めてればいだろうっていう意識が多い。本当に恥ずかしい話。そんな中で障がい者支援センター、区役所福祉課とかもですね、協力をし合いながらいろいろやっています。今日も来ていますけど、らいおんはーと及川さんだったり、いろいろと知り合いができました。

今、うちは食品を扱っているんですけど、フードロス、要するに今でこそSDGsと言われてますけど、そう騒がれる前からもう出荷できない商品、今までうちはお金をかけて捨てていました。本当に無駄だと思います。だけどうちのセンター長に言わせると、お客さんからは廃棄の費用をもらっていますと。だからいいんだっていう考えのセンター長もいました。ただそれってどうなのという中で、僕は出荷できない、出荷制限のかかった商品、そういったものを近所のその障がい者の施設などに配っていたのが始まりです。らいおんはーと及川さん田所さん、いろいろと知り合えて、こんなのありますよ、どうですかっていうことで声をかけていました。で、今は社協を通じてまた広がってきています。

大きな団体、小さな団体いろんなところがあります。自分の家でやられている方、もう本当に頭が下がる思いです。そういった方に何か協力できればなと思っております。普段自分の仕事もちろんあります。肩書きも一応立派な肩書きあるのですが、雑用みたいなもので、自分の仕事って夕方以降にやるような感じで、昼間はなるべく何か協力できることないかっていうことで、子ども食堂のことだったりそれから障がいもそうですけど、いろいろと自分なりにできることはやっています。

最近やっとうちのその社員の意識がだいぶ変わってきました。こういった機会を与えていただいて、今日は本当に嬉しくて参加させていただいたんです。できれば今日お配りしている資料の中に入っていると思うんですけど、当初はLINEのQRコードを載せてもらいました。ただ、今日かなりの数来られるということで、この方が一斉に登録されちゃうと、僕も対応しきれなくて逆にご迷惑かけちゃうっていうことで、急遽外してもらっています。ですのでこの後名刺交換できればぜひしたいと思っておりますので、そういった方とLINEで交換して、こんなのありますよっていう情報発信をしていきます。受付順で対応していくようにしますので、必ずしも応募があったから必ずその商品渡せるかっていうとそうではないんですけど。

長く携わってきて一つ思っているのが、本当に必要な方に届いてないという現状。逆に余っちゃっていたりする場合があります。そういったのを聞くと、僕は最近この商品はこの人、この商品だったらこの団体だっていうことで、なるべくそういうところに優先してお配りして、取りに来ていただいて、少しでもフードロスに役立てばと思っております。

自分の原動力になっているものがあるんですけど、今でこそ本当に感謝していますが小さい頃から親父に言われていたことが一つあります。困ったときはお互い様と、困った人を見たら助けなさいっていうことをずっと言われてきました。そうすることによって、自分が困ったときには助けてもらえるんだということ言われております。54年生きててまだ助けられてないんですけど、まだまだだなということで、困ったときはお互い様、その精神で一応やってはいます。

昨今運送会社っていうと悪いイメージ、うちもですけど煽られたとかで今ですと写真撮られて、SNSでこんな会社がこういうことをしていたみたいな情報が出てしまいます。そんな中で信濃運輸を少しでも知名度を上げようということで、見たことある方いらっしゃるかな、ラッピングバスを走らせたりですね、それから地元の全然無名のサッカーチーム、そういったところのスポンサーをしたり、そういったところで、信濃運輸と言うと喜んでくれるっていう話を聞いたりすると本当に嬉しいです。微力なですけど、皆さんに協力していきたいと思しますのでぜひお声がけしていただいて。

最近では物を配るだけではなくて、例えば使えない自転車、それから家電、お金かけて捨ててるっていう現状です。今協力している浦安にある障がい者の施設なんですけど、そういった不用品を、分解するのが手の訓練になるということで、障がい者の施設が商品を取りに来てくれて。うちも電化製品大量に出ます。パソコンが古くなるとすぐ捨てちゃう。そういったのを今までお金かけて捨てていましたけど、そういったのも写メ撮っていただいて大丈夫なやつはうちで全部取ります。そこから障がい者の施設にお渡しして、またそれを分別すると、それで鉄くずはお金にして、一つのリサイクルになっていますので、配るだけではなくそういったのも、逆に運送会社がやっていますので何か相談事があれば言っていただいて、倉庫もやっています。この前も場所がないということで言われたお客さんにコンテナボックス貸し出ししたりもしました。当然費用もいらないですよってということで、それは余裕があったのでできたんですけど、そういったこともやっていますので、何かあれば遠慮なく言っていただいて。当然できないものはできませんということではありますが、ただ、すぐにできませんっていうのは言いたくないんで、何か相談を受けたらこれはこの会社に聞けば何かヒントが得られるかもしれないってということで、日々やっておりますので、ぜひこの機会にですね、信濃運輸をお見知りおきいただければと思います。今日はありがとうございました。

⑧ お野菜自給自足プロジェクトについて

(フードネット江戸川 大場代表)

一応主催フードネット江戸川って書いたんですけど、やっているの私だけです。今回のプロジェクトってというのは、うちに2.5m×30mぐらいの幅の使ってない農地があるんですね。写真見ていただくと、(資料参照)真ん中の2枚目が現状です。仕事もして、親ともやっていますが、親も80過ぎて、もうほぼ1人で農業やっているような状態で、やりたけれどやれていない状態です。何を植えるかっていうのも決めていただき、私はあんまり参加したくないなって言い方変ですけど、要所要所では参加させていただきますけれども、できれば運営をやっていたら私は仕事に専念でき、簡単に言えば区民農園みたいな感じで思っていたらいいかなと。

もし、ジャガイモを植えたいっていうふうな声が皆さんあるようでしたら、ジャガイモは1月なので、鍬を持っていただき、ちょっとずつ耕して、植える状態にさせていただくと嬉しいなと。もし、夏野菜の方がいい、きゅうりやなすの方がいいよっていうようでしたら、4月ぐらいに苗が出てくるので、その頃までに畑を片付け、ブロッコリーも、無理やり終わらせて、機械を入れれば、一番右の状態になるかなと思っています。

企画も自分で考えていただけなので、何も始まってない状態ですけど協力したいという人いましたら、下にLINEのQRコードがありますのでよろしくお願いします。他にこうやった方がいいよという声がありましたら、どしどし、まだ何も始まってないので逆に言えば参加したもん順、自分の好きなようにできると思っていたらいいと思います。お願いします。

(藤居世話人)お野菜も高いですし、自分達で作った野菜が食べられたらいいなと思います。篠崎のエリアの方たちでチームができたらいいなと思います。

⑨ こども食堂マルシェについて

(こどもカレースタンド 岩本代表)

お手元にありますこども食堂マルシェの資料をご参照下さい。北葛西でこどもカレースタンドを運営してまして、6月の打ち合わせ会の時に、子ども食堂でみんなと一緒にマルシェやりませんかと提案させていただきました。嬉しいことに多くの皆さんに賛同いただきました。マルシェ開催に向けて吉田さんをはじめとして、社協の皆様にご協力いただき、10月5日の日にこども食堂マルシェキックオフミーティングと称して、初会合を開きました。そこで改めて、ご賛同いただける食堂の皆様で作るグループを、子マル会と命名しました。今後この子マル会で、地域の皆さんに楽しんでもらえるマルシェを作っていきます。

冊子にも書いてあるのですが、令和7年4月26日の土曜日に、えどがわっ子食堂ネットワークとNPO法人んごろんごろんで、共催で開催予定です。マルシェの開催場所ですが、葛西区民館の斜め前にある、滝野公園という公園で予定しています。内容としましては、この子マル会が中心となって、体験と情報をキーワードとして行うイベントです。地域の団体

や協賛企業にもご協力いただく予定です。それぞれが何かの販売であったり、ワークショップや体験であるブースを設け、そこで自分たちの食堂のPRをしていただく。誰がどんな食堂をやっているか、やっている人たちの顔が見えることが重要だと思っています。

このイベントでは、えどがわっ子食堂ネットワーク全体として、区内にどんな子ども食堂があるのかなどを掲示します。まずは知ってもらうこと、その上で楽しんでもらえるイベントにしていきたいと考えています。協賛金の集まり次第にはなりますが、マルシェオフィシャルとして軽食の無料配布なども考えています。現在日程と開催場所が決定したところで、内容的にはこれから詰めていく予定です。

なぜこのマルシェ発案に至ったかといいますと、最初はマルシェ開催したいな、NPO法人で普通におしゃれなマルシェを開催したいなって思っていたんですね。その中にこども食堂もやっているの、こども食堂の情報をちょっと入れられたらいいなぐらいに考えていました。でもそんなときに吉田さんからつながりを作りたいとおっしゃっていたことを思い出して、そこで、だったら子ども食堂で何件か集まったら面白そうだし、横のつながりもできるんじゃないかと、ちょっとしたひらめきでありました。

そこから、あれこれ考えているうちに、今のこども食堂が抱える課題や、あり方など、思うところがいろいろ出てきました。世の中に伝わっているこども食堂の定義って、経済的に食べられない子が行くところっていうふうになっているように思います。確かにそういった子も来てほしい、届けたいと皆さん思っていると思います。でも経済的に困窮していなくても、1人で食事をとっている子や、学校でもなく家でもない場所を求めている子ども達に使ってほしいとか、やっぱり居場所だと思うんですね。子ども食堂は誰が行ってもいいところだということを、きちんと伝える必要があると感じています。

このネットワーク会議でも皆さんのご意見を聞いて、届けたいところになかなか届かないというお話がいくつも出ています。私も実際にそれが課題だと感じています。お得に敏感なお母さんにしか届いていないようでもどかしいです。私達が抱えているもどかしさ、感じている方結構いらっしゃるんじゃないかなと思います。私達が届けたいと思っている相手は、もしかしたら情報弱者かもしれません。公的サービスでもそんなものがあつたかとか、知らなかったっていう事がよくあります。実はこんなサービスがあるにしてもこちらから取りに行かなければならず、知る由もない情報がたくさんあります。私達こども食堂もこれと同じではないでしょうか。やっぱりこちらから見える場所へ出て行って伝えることだと思いました。ここで伝えるのは限界があり、難しいです。そして発信力が弱いです。こども食堂ってこんな感じなんだ、開かれた空間なんだと伝えたい。そんな思いから、このこども食堂マルシェの発案に至りました。以上です。

(藤居世話人)これから具体的なことは詰めてっていう段階なんですけれども、その他の地域の方たちもぜひ関心を寄せていただいて、見守ったりまた参加していただいたりということも可能だと思いますので、よろしく願いいたします。